

区分：

場所	7号機	
件名	残留熱除去系停止時冷却外側隔離弁（C）電源喪失警報の発生について	
不適合の概要	<p>（発生状況） 2015年12月9日午後0時23分頃、定期検査中の7号機（定格電気出力135万6千キロワット）の中央制御室において、「残留熱除去系^{*1}停止時冷却外側隔離弁^{*2}（C）電源喪失」の警報が発生しました。 確認したところ、原子炉建屋1階（管理区域）残留熱除去系弁室の外側で壁のボーリング作業を実施しており、この作業に伴い誤って当該弁の制御用のケーブルを損傷させてしまったことがわかりました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 現在、7号機は停止中であり、原子炉の除熱は他の系統で実施しており、残留熱除去系（C）系に除熱機能の要求はありません。 また、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*1 残留熱除去系 原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱除去や、非常時に原子炉水を維持するために原子炉へ注水する系統。</p> <p>*2 停止時冷却外側隔離弁 原子炉から残留熱除去系ポンプに冷却材を供給するために使用する弁。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<p><安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中</p>
対応状況	ケーブルを損傷させてしまった原因について、調査を進めてまいります。	

7号機 残留熱除去系停止時冷却外側隔離弁（C）電源喪失警報の発生について

